

令和2年4月

八女工業高校図書委員会



図書館通信

第1号



長い休校期間が続いています。家の中で過ごすことが多くなりましたね。今までとちょっと違う生活の中で、ストレスが溜まっていませんか？家では何をすればいいかわからず、暇を持て余していませんか？

こんなときこそ**読書**をしてみましょう！

本は、いい**気分転換**になります。**ストレス解消**になります。

あなたを家から連れ出して、**普段できない経験**をさせてくれます。

絶対に会えない人と**対話**をさせてくれます。

学校では学べないことがたくさん学べます。

いつもと違う毎日だからこそ、いつもは知らない一冊に出会ってみませんか。



= 4月23日は「子ども読書の日」です =

「子ども読書の日」は、2001年(平成13年)12月に公布された「子どもの読書活動推進法」に基づき、「子どもの読書活動についての関心と理解を深め、子どもが積極的に読書活動を行う意欲を高めること」を目的として制定された記念日です。

ここでいう「子ども」は、高校生を含め広く青少年を指すものとされています。

また、この日はユネスコ(国連教育科学文化機関)によって制定された「世界本の日」「世界図書・著作権デー」でもあります。スペインでは古くからこの日が「ドン・キホーテ」の作者セルバンテスの命日で(1616年)でもあることから「本の日」とされ、男女で本を贈り合う風習がありました。1995年、ユネスコがスペイン政府の提案を受け入れ、今日に至っています。

おうち読書のススメ

近隣の図書館が開いていない、書店も閉まっている…など、なかなか本が手にはいらない状況かもしれません。



そんなときは、「**青空文庫**」をおすすめします。

著作権の切れた作品や、著作権は切れていないものの筆者が提供してくださっている作品を無料で読むことができます。

「**青空文庫**」ホームページ

<https://www.aozora.gr.jp/index.html>

おすすめ図書紹介

★図書館司書の先生より

「**きみが見つける物語 十代のための新名作 スクール編**」KADOKAWA/角川文庫

編:角川文庫編集部、著:あさのあつこ、恩田陸、加納朋子、北村薫、豊島ミホ、はやみわかおる、村上春樹

7名の小説家の作品から、特に学校を舞台にした短編小説を収録したアンソロジーです。

ミステリーやファンタジーも収録されていますが、個人的には過疎地帯でそれぞれの岐路に立つ高校野球部員を描いた「このグラウンドで(あさのあつこ著)」、ボクシング経験者が学生時代、同級生を殴るに至った理由を重々しく振り返る「沈黙(村上春樹著)」など考えさせる作品が好きです。

このシリーズは「スクール編」だけでなく、「恋愛編」「友情編」など様々なジャンルがあります。

図書館に行けるようになったら、探してみるのも良いかもしれません。またここで読んだ作品をきっかけに同じ作者の他作品を(それは短編でもいろいろ、長編でも)手に取ってみるのもいいと思います。



★インターネット上の図書紹介サイト

～運命の一冊探しにぜひ活用してください～

「**子供の読書キャンペーン～きみの一冊をさがそう～**」(※文部科学省HP内のサイトへリンク)

https://www.mext.go.jp/a_menu/ikusei/gakusyushien/mext_00480.html

上記サイト内で、様々な図書紹介サイトにアクセスすることができます！